

由比宿

東海道二峠六宿

駿河国ではめずらしい桃源寺の双体道祖神



由比宿を映像で紹介しています！

東海道「由比宿」
由比駅から旧東海道を通り
由比宿へ行く
<https://youtu.be/yVSOWVf5iVc>



東海道「由比宿」
お太鼓祭を守り伝える
https://youtu.be/WS6h6xr_saU



東海道を行く
原宿西木戸～由比宿～薩埵峠
<https://youtu.be/vgLBPY5uZec>



二峠六宿道旅推進実行委員会

令和2年度文化芸術振興補助金

桜えびが有名な由比宿

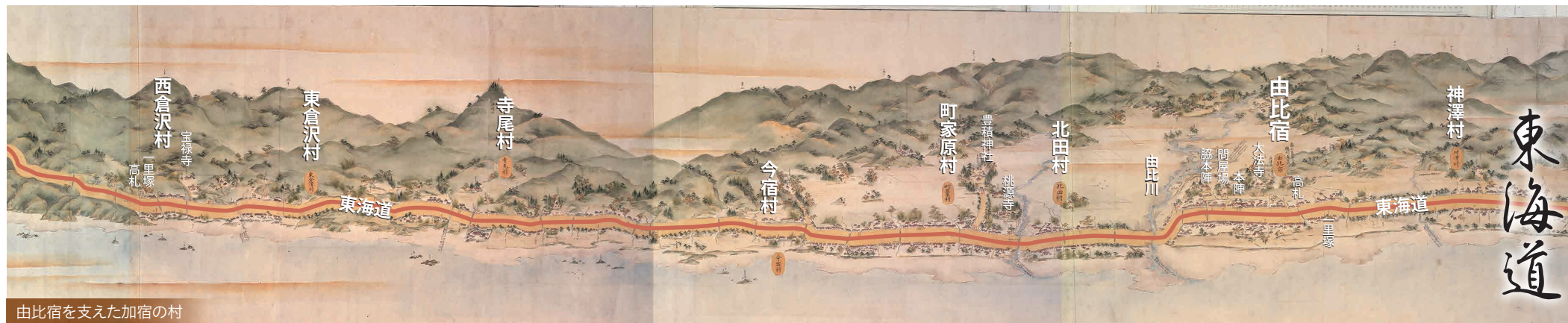


広重作品では由比宿は薩埵峠の風景となっています。

東には蒲原宿、そして富士川、西には薩埵峠がある東海道16番目の宿場です。本陣跡には表門、石垣、物見櫓、馬の水飲み場、離れ座敷、東海道広重美術館、由比宿交流館などが整備されています。

間口33間、1300坪の
広大な敷地の本陣の主は
今川義元公の家臣の子孫。
徳川家康公より、
本陣職と問屋職を
任命されました。





東海道分間延絵図 1806年、江戸幕府が道中奉行に命じて江戸から大阪間の東海道を詳細に調査し絵図にしています



せがい造り
雨風に強く風格のある家に見せるため、桁に腕木を付け足してその上に垂木を置く技法。船大工がいた由比では見かける技法です



豊積神社 本殿
創建は791年と伝えられる延喜式内社の駿河国二宮の神社。主祭神は富士山の神、木之花咲耶姫命を祀っています



樹形跡
宿場の入口は道路をかぎ型に曲げて外敵の侵入を防ぐ「樹形」になっていました。その形が残っています



清水銀行
1925年に建てられたイオニア式の柱が特徴のコンクリート造の建築物。国の登録有形文化財です



お太鼓祭 (静岡二峠六宿街道観光協議会 撮影:飯田忠雄)
坂上田村麻呂の戦勝祝いが起因といわれ、豊積神社から神が宿った太鼓をたたき、歌いながら町を巡行します。県無形文化財



桃源寺 高遠石工がつくった駿河国の代表作
信州高遠町の農家の次男、三男は石工の技術を身に付け旅稼ぎに出ていました。苦しみ救う7軋の観音様です



正雪紺屋
3代將軍家光公逝去後に起こったクーデター「慶安の変」の首謀者で軍学者由比正雪の生家と伝わっています

東海道 由比宿の見どころ

1843年、東海道宿村大概帳によると
東西は約300m、家数160戸、
713人が住む小さな宿場でした。
宿場に課せられた人夫100人と
馬100匹が用意できず、
周辺の11ヶ村が加宿し、宿場を支えてきました。
由比の語源が共同作業の
「ゆい」といわれているのもうなずけます。

由比宿 漁師町の活気と宿場の雰囲気が残る

由比宿／家数160軒
(本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠32軒)、
人口713人
出典：1843年東海道宿村大概帳



近景の山により宿場からは
富士山は見え、県道396号
から上部が見えます



狭い路地になっていますが
ここが旧東海道跡



桃源寺の銀杏と豊積神社の樹齢
700年の大銀杏(県指定文化財)
とは夫婦といわれています



由比川より西方面



由比川より東方面

0 250m 500m

